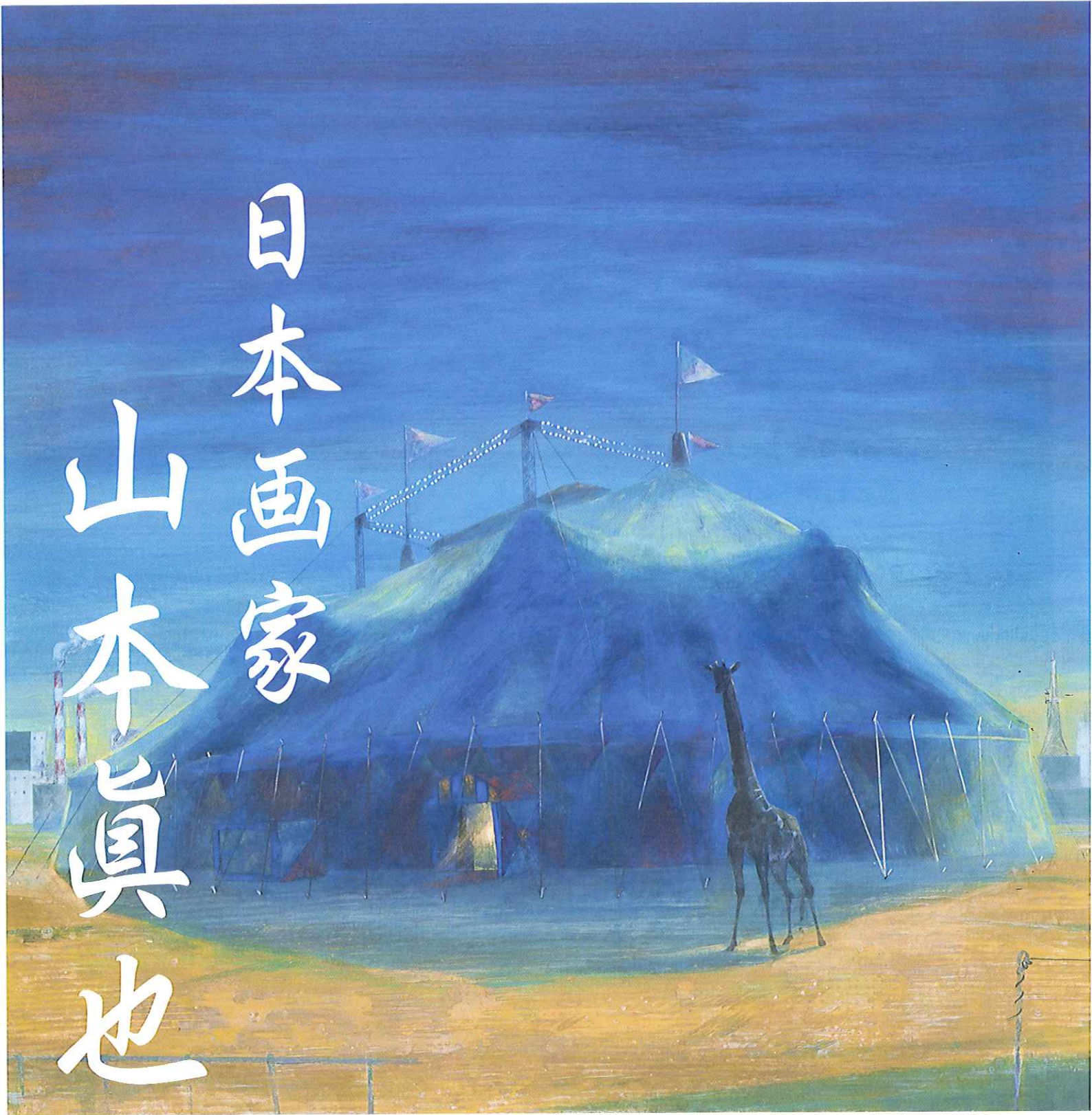


日本画家
山本眞也
展



「夕映のサーカス」(2002年制作、春の院展出品)

平成27年10月1日(木)～28日(水)

—会期中無休—

入館時間 午前9時～午後5時(午後4時30分受付終了)

入館料 一般700円 学生380円 小中学生280円
常設展・庭園の観覧料を含みます
20名様以上の場合、団体割引があります

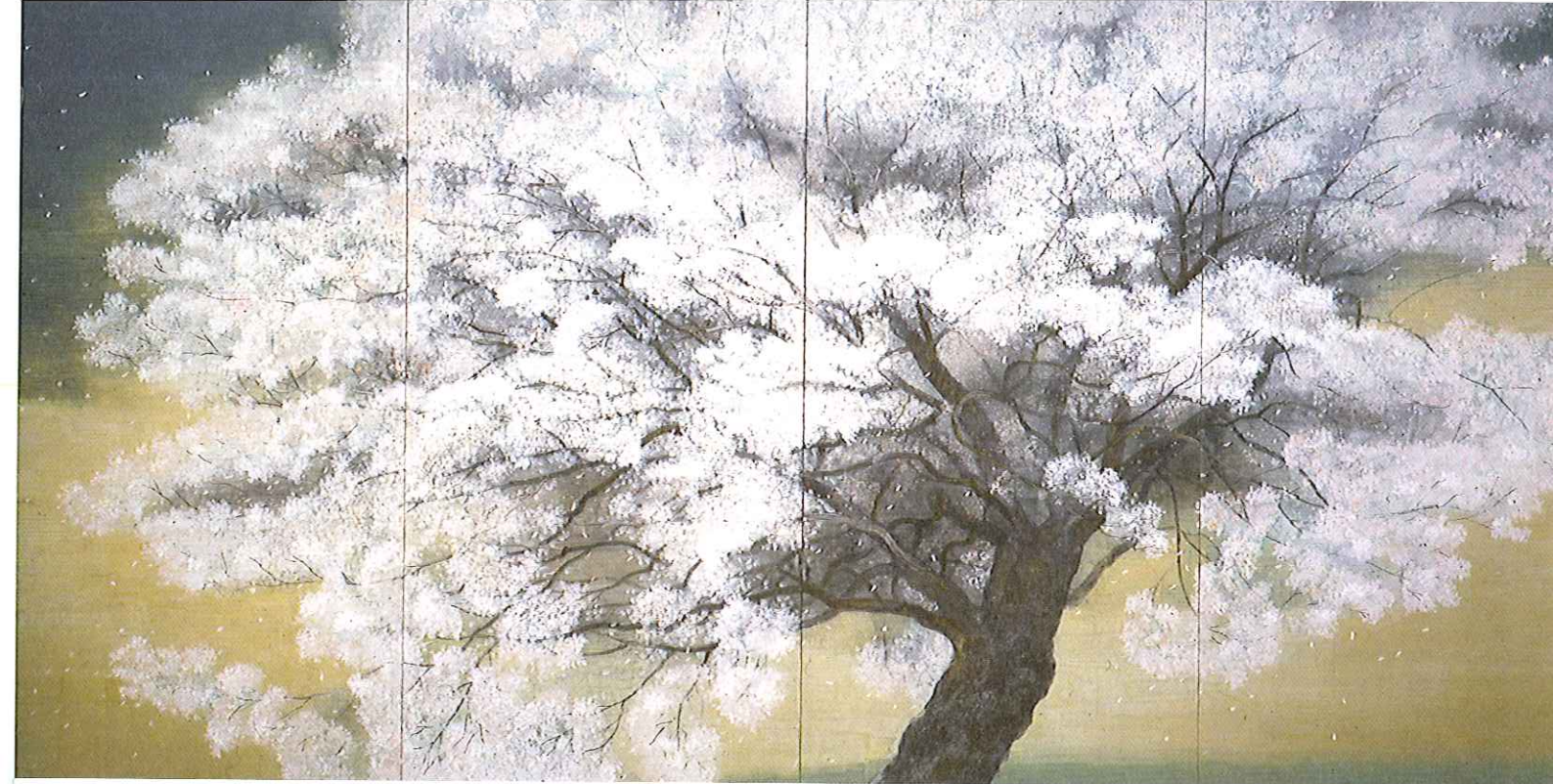
主催 公益財団法人 致道博物館

共催 山形県・公益財団法人山形県生涯学習文化財団
鶴岡市教育委員会



致道博物館

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町 10-18
TEL: 0235(22)1199 FAX: 0235(22)3531
<http://www.chido.jp/> E-mail: chido@axel.ocn.ne.jp



四曲一隻屏風「春への別れ」(1999年制作、日本画の新世界展出品)

柔らかな色彩と繊細な筆致による、幻想的な雰囲気漂う作風を得意とする山本真也氏は、1946年(昭和21)山形県鶴岡市に、洋画家・山本甚作氏の長子として生まれました。

7歳の時に家族と上京し、'71年に東京藝術大学大学院美術研究科(日本画専攻)を修了。高松塚古墳の壁画模写に従事しながら、院展を中心に作品を発表しました。

'79年以降は、時代への日本画展や東京セントラル美術館日本画大賞展など、数々の展覧会へ意欲的に出品を重ね、'98年から2011年まで新潟大学教育人間科学部教授に就任。日本画を主としながら、多様な絵画表現形態のあり方を複合的に考察し、多面的な視点から後進の育成に尽力しました。

現在、日本美術院特待として院展で活躍するほか、個展やグループ展を積極的に開催。透明感にあふれる郷愁的な作品は、柔和な美しさを醸しだし、見る者を魅了しています。

本展では、院展等への出品作をはじめ、屏風など約25点の大作を中心に展示し、詩情豊かな絵画世界をご紹介します。

◆◆ 山本真也氏による ギャラリートーク ◆◆

10月1日(木)、午後2時より(約1時間)
申込みは不要です。直接、展覧会場へ
お越しください。



「捨てられた物達への偏愛」(1998年制作、院展出品)

主な出品作品(制作年/出品歴)

- ・流砂(1969年/春の院展)
- ・霜風(1979年/昭和世代展)
- ・7月8日(1988年/院展)
- ・遠雷(1989年/院展)
- ・刈田(1991年/両洋の目展)
- ・祭りのあと
(1996年/現代作家展・古河市美術館)
- ・罌粟(1997年/三越個展)
- ・象の一日(2000/春の院展)
- ・男と女(2003/春の院展)

※大作の日本画(屏風、額装)に加え、コラージュ作品、写生帳、小下図、用具(絵具、筆等)を展示します。



公益財団法人 致道博物館 交通案内



- JR鶴岡駅よりバス10分「致道博物館前」下車
- 山形自動車道鶴岡ICより車で5分 ■庄内空港より車で20分

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
TEL:0235-22-1199 FAX:0235-22-3531
<http://www.chido.jp/> E-mail:chido@axel.ocn.jp